

OneNote Class Notebook を利用した家庭科「作業時間の積み増し

ー課題のやりとり、共同作業、一斉連絡ー

東京都 筑波大学附属駒場中学校・高等学校 植村 徹
(Microsoft Innovative Educator Expert 2016)

授業時間が限られた中、家庭科での自宅での実習を記録させ、生徒・教員双方がレビューするために、Microsoft Office365 Education の OneNote Class Notebook (OneNote CN)を利用した。記録の蓄積や、確認・採点作業の軽減など生徒・教員双方に利点が見られた。また、生徒間の共同作業にも有益だった。

1. はじめに

選択科目、ほぼ月に1度の実施、授業時間自体が少ない、かといって自宅での課題には手を抜きたくない…。このような状況の中で効果的な授業運営をするためにどのような工夫が必要か。Office 365 と、OneNote Class Notebook を利用することでこれらの制約を拭い去ることを試みた。

2. 授業概要

2.1 テーマ学習『新・お料理一年生』に学ぶ

「テーマ学習」は本校中学3年の「総合的な学習の時間」の枠内に設定されている。各教科の教員が学習範囲にとらわれることなく専門的な内容を学ぶ講座で、おおむね10人程度の受講生を対象としている。本講座はその中の一講座であり、『新・お料理一年生』をテキストに、調理が比較的不得手な生徒に十分な調理の機会を与えることを目的としたものである(図1 授業の様子)。効果的な講座運営には、学校での実習だけではなく、家庭での復習とその十分な確認が必要となる。



図1 授業の様子

2.2 既存のクラウド環境

当時、本校はいくつかのクラウド環境を試用中で、当該学年はOffice365 Educationを学年全体で試用していた。この学年では「総合的な学習の時間」や「学校行事」などのために、SharePoint Online上でのファイル共有(Word, Excel)や、メールなどを利用していたが、OneNoteは使用してい

なかった。また、生徒個人への端末貸与などはおこなわず、学校内ではコンピュータ教室の端末、帰宅後は生徒自宅のパソコンや生徒所有のスマートフォンを介してクラウドに接続していた。

2.3 今回の授業でのクラウド利用

授業時間自体や授業頻度の少なさを補い、効果的に調理実習の予復習を行うため、以下の点に絞ってクラウドを利用した。※授業中は使用せず。

用途：自宅課題のやりとり、授業前後の生徒の共同作業、一斉連絡、事前調査など。
作業：Office365上のOneNote CNを介した課題のやりとりや共同作業、メールでの連絡。
端末：校内…コンピュータ教室のPC 自宅…生徒所有のPC,スマートフォン
期間：2016年6月～2017年1月の7回・合計約20時間 + 自宅学習時間
生徒：16名(中学3年生)

OneNoteの以下のような利点が選定の鍵となった。

- ・ ノートにさまざまなファイルを添付できる
- ・ ワープロ的にも使用できる
- ・ 共同作業時にどの生徒が編集したかがわかる
- ・ 手書きコメントをつけることができる
- ・ OneNote CNにより課題管理ができる
- ・ 授業グループ作成・生徒の追加が容易である

3. OneNote CN 活用の実際

ここでは、OneNote CNをどのように利用したかを述べる。なお、CN使用に当たっては、「クラス ノートブック アドイン」を適用した。

3.1 教材提示

OneNote CNの教員のみが書き込み可能な「コンテンツライブラリ」を利用した。授業の約束事(調理班など)や、毎回の授業プリントやレシピなどを事前提示した(図2)。万が一プリントを紛失した際のバックアップにもなった。

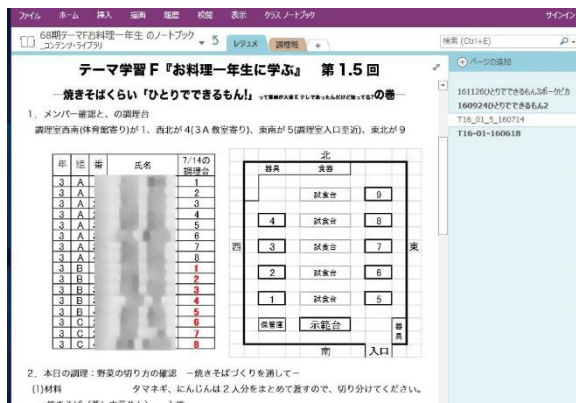


図 2 授業プリントの提示例

3.2 共同作業

OneNote CN の生徒も教員も書き込みできる「共同作業スペース」を利用した。グループ内で実習の献立や食材調達の相談をしたり、反省をしたりする場所に使用した(図 3)。OneNote では書き込んだユーザー名が表示されるため、互いの意見を確認して議論を進めることができた。教員からも適宜コメントし、迅速に協議を進められた。



図 3 共同作業でレシピ検討例

3.3 課題のやりとり

OneNote CN によって作成された各生徒のノートブックの課題セクションを介して行った。図 4 は調理実習の復習を自宅で行い作成した静止画や動画付きレポートと教員によるコメント例である。コメントはペン書きとキーボード入力 of の双方で行え、採点環境に応じて柔軟に作業できた。

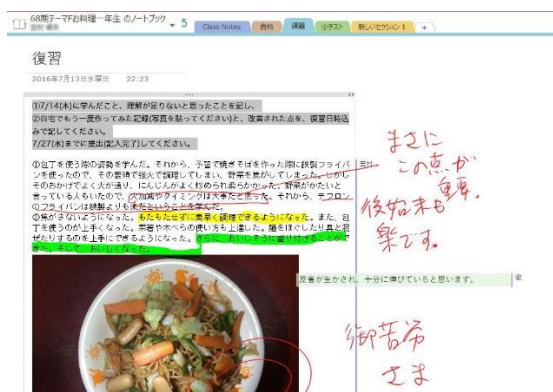


図 4 提出された課題と教員のコメント例

3.4 一斉連絡

OneNote の機能ではないが、Office365 のグループ機能を利用して、受講生に一斉メールを送信し、連絡事項を周知することができた(図 5)。



図 5 グループ機能を利用した一斉連絡

3.5 アンケート調査

同様に、Office365 の Forms を利用して、受講生に事前・事後アンケートを容易に実施することができ、授業内容の改善が図れた(図 6)。



図 6 Forms を利用した事前アンケートの例

4. おわりに

Office365 と OneNote CN を利用することで、宿題や授業前後の作業内容とレビューが明確化し、授業時間を有効に活用できた。今後は、1人1台環境を視野に入れ、授業自体にどのようにクラウドを取り入れ展開できるかを考えたい。

注釈

- 教育課程上は「総合的な学習の時間」の一部であるが、実施形態は従来の「選択教科としての技術・家庭(家庭分野)」と類似しているため、読者の理解を促すため「家庭科」とした。

参考文献

- 植村徹. (2015). クラウドを用いた生徒の共同学習 -OneDrive と SharePoint Online を利用して-. 第 8 回全国高等学校情報教育研究会(宮崎大会) 発表論文集 (pp.19-20).

参考サイト

- 日本マイクロソフト、導入事例：筑波大学附属駒場中・高等学校(2014)
<http://www.microsoft.com/ja-jp/casestudies/komaba-s.tsukuba.aspx>